

えびの

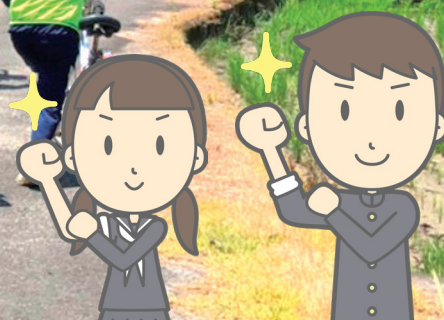
ボランティア
センターだより

第 18 号

2022年7月19日

今年もやります!

みやざきボランティア体験月間2022

“お年寄りの”
「困りごとお助け隊」

7月～9月はボランティア体験月間です。

地域の高齢者の中には、「ゴミ捨てや買い物に行けない」「庭の手入れができない」など生活上の困りごとがととも増えています。このボランティア体験では、中学生ボランティアが「困りごとお助け隊」として高齢者のお宅を訪問し、草取りや窓ふきなどのお手伝いを行います。

《令和4年度は下記の日程で開催します》

真幸中学校
7月29日加久藤中学校
8月2日上江中学校
8月4日飯野中学校
8月10日

※掲載の写真は昨年の様子です。

発行/社会福祉法人

えびの市社会福祉協議会 ボランティアセンター

〒889-4221 宮崎県えびの市大字栗下67

TEL0984-35-2800 FAX0984-35-1983



福祉体験

「福祉」ふだんのくらしのしあわせ

誰もが幸せに暮らしていくためには何をすればいいのか体験をとおして考えます

車いす体験

車いすの各部の名称や正しい操作方法を学び、実際に車いすを使って、様々なコースを通り、介助する側・介助される側の体験をします。

高齢者疑似体験

老眼、白内障による色覚変化などを体験するための特殊ゴーグル、筋力低下や関節の動きにくさを体験するための手足に装着する重りやサポーターなどを身に付けることにより、高齢になった時の身体的機能の低下や心理的变化を疑似的に体験します。

アイマスク体験

アイマスクを装着して、介助する側・介助される側を体験し、ガイドの方法や声かけのポイントを学びます。

車いす・高齢者疑似体験実施を実施しました(6/20)



真幸中学校

アイマスク体験を実施しました(7/4)



真幸中学校1,2年生の福祉体験を実施しました。6/20 に実施した1年生の車いす体験では、車いすの操作方法や介助方法について学び、高齢者疑似体験では身体機能の低下を疑似的に体験してみることで、車いすや高齢者の方の気持ちを理解し、自分たちはどんな手助けをすればよいかを学んでもらいました。

7/4 に実施した2年生のアイマスク体験では、視覚障害者福祉会の山下順一郎さんより、視覚障害者の日常生活や目が見えないことでの困りごとなどについてお話いただきました。またアイマスク体験では視覚障害者の方への声の掛け方や誘導方法について学んでいただきました。

「上手な話の聴き方」研修会(中級編)を実施しました(6/22)



宮崎市より、精神対話士の増田玲子さんをお招きし、傾聴ボランティア養成講座「上手な話の聴き方」研修会(中級編)を開催しました。ヘッドホンを使い高齢者の耳の聞こえにくさを体験したり、参加者同士で傾聴したりしながら、話し相手ボランティアとして活動する為のスキルを学んでいただきました。次回は、令和5年3月に第2回傾聴ボランティア養成講座(初級編)を開催します。興味のある方は是非ご参加ください。

第1回「カレーの日」を実施しました(7/2)

ボランティア 11名
調理数 121食



「カレーの日」はボランティアが調理したカレーを参加者に振る舞う子ども食堂です。(月1回実施)
昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から思うように実施が出来なかった「カレーの日」ですが、本年度は児童クラブや必要とする方へお届けする形で実施しています。数に限りはありますが、会場(えびの市社会福祉協議会)での配布も行っています。開催予定日は裏面に記載してありますので是非ご利用ください。ボランティアを希望する方は、電話 35-2800 にお問合せください。(担当:阿多)

収集ボランティア事業

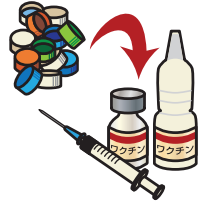
エコキャップがワクチン40人分になりました！

5/20、これまでに寄せいただいたエコキャップ 268 kgを、リサイクル工場にお届けし換金することが出来ました。

換金したお金は「世界の子供にワクチンを日本委員会」(JCV)に寄付され、発展途上国の子どもたちのワクチンとして支援されます。

現在、個人や企業など多くの方々が社協に届けてくださいます。

収集ボランティアは、ご家庭や学校、職場などで気軽に始められるボランティア活動のひとつです。是非、みなさんも“ちょいボラ”始めてみませんか。



エコキャップ受領書



社協に設置している
回収ボックス



集まったエコキャップ
268Kg



軽ワゴンにぎっしり!

プルタブ、書き損じはがき、使用済み切手なども集めています



えびの市社会福祉協議会の窓口に、回収ボックスを設置しています。
ご協力をよろしくお願いいたします。



えびの市社会福祉協議会では、
ウクライナ人道危機救援金を受け付けています

日本赤十字社は、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、各国赤十字社が実施するウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を継続して支援するため、ウクライナ人道危機救援金を受け付けています。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

ボランティア活動紹介

当会は、史跡・文化財等の研究調査や歴史学級の開講、機関誌「えびの」の発行をしています。
観光地めぐりの案内も、ボランティアガイドとして奉仕しています。

『えびの市史談会』 会長 亀澤 轟幸



年1回発行



(令和4年度の行事予定)

月	行事名 (予定日)
7月	カレーの日(7/2)
	ファミリーサポートセンター)おたすけ会員養成講座(7/6) (7/7)
	夏ボラ 2022“お年寄りの”[困りごとお助け隊]
	真幸地区(7/29)加久藤地区(8/2)上江地区(8/4)飯野地区(8/10)
8月	カレーの日 8/27
	暮らしねっとサポーター養成研修(8/17) (8/19) (8/22) 県下一斉ボランティアの日 清掃活動(8/21)
10月	カレーの日(10/1)
11月	カレーの日(11/26)
12月	カレーの日(12/17) 歳末たすけあい街頭募金(12月中旬予定)
1月	カレーの日(1/28)
2月	カレーの日(2/18) 暮らしねっとサポーター養成研修(2月中旬予定)
3月	カレーの日(3/25) 第2回傾聴ボランティア養成講座(3/8) (3/15)



LINE 公式アカウント はじめました



右の QR コードを
読み取る。



【友だち追加】>
【ID 検索】より

@518itloh

と入力。



ボランティアセンターからの情報をお届けします。是非ご登録ください!

えびの市ボランティアセンター
(えびの市社会福祉協議会)

電話 35-2800 / FAX 35-1983

県下一斉ボランティアの日 清掃活動

日	時	8月21日(日曜日)午前6時15分集合 / 6時30分開始
集合場所		えびの市役所、飯野出張所、真幸出張所
作業場所		えびの市役所、飯野出張所、真幸出張所 及びその周辺です
活動内容		環境美化(ゴミ拾い・草取りなど)
持ってくるもの		手袋、拾ったゴミを入れる袋
備考		ボランティア団体に所属されている方は、決められた作業場所での活動となります。 一般参加者の方は、3つある作業場所のいずれかで活動してください。

